

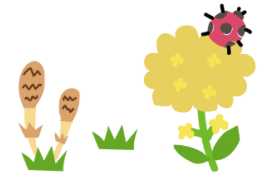


学校だより

きずな

学校教育目標 夢に向かって 自ら学び 共に伸びる

熊野町立熊野第一小学校
令和8年3月17日
校長 梶 弘樹



地域に支えられたチャレンジ

～明日もがんばるぞ！～

年度末が近づいてきました。保護者、地域の皆様のご協力のおかげで、学校には子供たちのたくさんチャレンジが生まれました。「人はハッピーがあったらまた走れる」中溝千歳会のご支援により、通学路のあちこちに掲示されている6年生の座右の銘の一つです。その通りですね。「心が動くハッピーな瞬間」があるだけで、また頑張ろうと思える。子供たちのチャレンジの中に、そんなハッピーな瞬間がたくさん生まれるといいなと思っています。



～地域に見守られて～



お世話になった地域の方を招待して、感謝の会を開きました。学校運営協議会やCS本部の皆さんを中心に、今年度もたくさんの地域の方に子供たちは育てていただきました。

今年度の感謝の会は、CS委員会の子供たちが計画して運営しました。“じゃんけん列車”や“ふるさとクイズ”を地域の方々と楽しみながら交流しました。みんなで“すばらしい言葉”を合唱し、ありがとうの気持ちを伝えました。

6年生が家庭科の時間に作った手作りのコースージュやお守りもプレゼントすると、地域の皆さん

はとても喜んでくださいました。地域の皆さんも子供たちもみんな笑顔です。

感謝の会も終了し、体育館の玄関で、地域の方を見送っていると、CS委員会の6年生の子が泣いています。何かあったのかなと思い、「どうしたの。」と声をかけると、「感謝の会が上手く行って、地域の方が喜んでくれてよかった。」と涙をぽろぽろと流します。「そうかあ。準備も頑張ったもんね。ほっとしたね。地域の人でも喜んでくれてよかったね。」すると、その様子を見ていた別の子が、「なんだか感動する。」ともらい泣き。その場にはCS委員会の子供たちと地域の方数人が居合わせたのですが、何とも言えない温かい雰囲気になりました。

6年生は、もうすぐ卒業です。地域の方々の支えの中で育ってきました。もちろん本校の教職員も全力で子供たちの成長に関わってきましたが、熊野第一小学校の子供たちは、地域の愛情をいっぱい浴びて伸びてきたのだなと、改めて感じた時間でした。



ありがとうあふれる「6年生を送る会」でした



3月4日（水）に、児童会による「6年生を送る会」が行われ、5年生が中心となって会を進めました。

6年生のサイン集めやたてわり班での楽しいゲームやプレゼントがあり、お別れは

悲しいけれど、6年生へのありがとうの気持ちと素敵な笑顔がいっぱいの会になりました。

最後には6年生から心に響くリコーダー演奏のプレゼントがあり、素敵な6年生の姿で会の終わりを飾ってくれました。



受賞おめでとうございます

○熊野町プラム賞（2名の受賞が決定しました。26日に表彰式が行われます。）

6年 中塩成嶺（英検準1級）

4年 沖本徹（パルクールネクストジェン選考会U-10優勝）

○小学生のためのプログラミングコンテスト「テックキッズグランプリ2025」

6年 岡永大知（中四国エリアTOP10）

子ども議会に参加しました

6年生の代表児童が「子ども議会」に参加し、熊野町について自分たちが学んだことや考えたことを発表し、町の行政に関わっておられる方々からコメントをいただきました。

ふるさと熊野について、よさや課題に目を向けるきっかけとなるとともに、子供たちにとって政治や社会の仕組みを肌で感じる貴重な学びの場になりました。



落とし物について

上着や文房具などたくさんの落とし物がありました。持ち主が現れない今年度の落とし物については、3月26日に処分させていただきます。お探しの物がありましたら、25日までにお知らせください。持ち物への記名もよろしくお願いいたします。

ホームページが新しくなります

熊野第一小学校のホームページがリニューアルされます。詳しくは4月号でお知らせします。